

サンワチャンネル

令和6年12月号



12月25日

クリスマスがやってくる！

12月の代表的なイベントといえば、クリスマスがあげられます。お店のショーウィンドウにはサンタクロースやトナカイなどの飾りつけがされたり、煌びやかなイルミネーションが街を彩り、気持ちがうきうきしてきますね！

今月はクリスマスの歴史、クリスマスの飾りに込められた意味などについてご紹介していきたいと思います。

クリスマスとは？

クリスマスはキリストの誕生日だという事を聞いたことのある方は多いのではないのでしょうか。しかし、キリスト教の聖書などには、キリストの誕生日が正確に記述されていません。クリスマスについては、「キリストの誕生した日をお祝いする日」とされています。

では、なぜ12月25日をキリストの誕生をお祝いする日にしたのでしょうか？

実は今現在でも様々な説があり、正確なことが分かっていません。

様々な説の中には、元々ゲルマン人が冬至に行っていたお祭りがキリスト教に取り込まれて現在の形式になったという説や、ローマ帝国の元々の土着のお祭りとして農耕の儀式の日にしたという説などがあるようです。



日本のクリスマスの歴史



飾りにも込められた意味が？

*1552年

現在の山口県にて信者を集め、ミサが行われました。当時は「クリスマス」ではなく、「ナタラ」と呼んでいたそうです。



*1617年

当時の徳川幕府により、キリスト教禁止令が発令され、表立ってクリスマスを祝うことは無くなります。



*1900年

明治屋銀座店にて、クリスマスの飾りつけを始め、今まで馴染みのなかったクリスマスツリーが店頭飾られたことが話題となりました。

*1926年

12月25日に大正天皇が崩御されたことに伴い、「昭和」が始まりました。そして、大正天皇祭として12月25日が国民の休日に制定されました。丁度クリスマス当日が祝日となったことで、家族や友人と過ごすクリスマスの習慣が普及していきます。

初めてのクリスマスはなんと

460年前から！



玄関やお部屋にも飾りつけをする人が多いと思います。実はその飾りにも色んな意味が込められている事を知っていましたか？



*クリスマスツリー

クリスマスツリーの多くは常緑樹で作られており、古くから「永遠の象徴」を表現した存在とされています。「神の永遠の愛や神が与える生命を象徴する」といった意味も込められています。



*クリスマスリース

クリスマスリースには複数の意味が込められています。

1. 豊作を願う

常緑の植物は年間を通して葉を茂らせているため、農作物の繁栄を示しています。

2. 永遠

リースの形は輪になっており途切れることがないということから、キリストの永遠の命を願う意味が込められています。

